

周作クラブ会報

(第76号)

2019年8月25日発行

周作クラブ

◆主な記事◆

周作クラブ総会	1面
周作忌のお知らせ	2面
原稿発掘	3面
殺陣クラブ公演報告	4面
長崎文学館便り	5面
周作クラブ長崎便り	6面
お知らせ	7面
	8面

今年の周作忌(23回)は日曜の夕

“遠藤周作&狐狸庵”の素顔

写真家・稲井勲氏に聞く

今年の周作忌では、冒頭に「スライドショー・遠藤周作&狐狸庵の素顔」が行われます。そこで、長く遠藤周作を撮り続けてきた写真家・稲井勲氏に、撮影の思い出を語ってもらいました。

Q ほかの人は誰も入れなかった書齋にも、稲井さんは入って撮影していますね。

稲井 ある日、先生から事務所に来るようにと連絡があり、「今回は書齋で仕事をしている姿を撮っていい」と言われました。思いもしない書齋での撮影です。本に囲まれた六畳ほどの書齋。先生の机は山積みの本に溢れ、窓から入るわずかな光と、小さなスタンドの光での撮影でした。「この部屋にカメラが入った事は無い。君が初めてだ」と言われて緊張し、全体にピントが少し甘い写真になってしまい、今でも後悔しています。わずかフィルム1本、時間にして10分ほどの撮影でしたが、あれほど緊張したことはありません。今のデジタルカメラなら、その感度も当時の何倍も高く、ピントもカメラ任せで何十枚も連写して、もっと沢山の綺麗な写真が撮れたかもしれません。が、ピントも甘く、低感度の、ざらついた粒子の荒いその写真は、僕のカメラマン人生で大切なものになっていきます。

Q その10年間で、「忘れられない言葉」を教えてください。

稲井 撮影で先生と行動を共にして、少し先生のことわかって来たように感じていた頃の言葉です。「ずいぶん僕の写真を撮って来たけど、まだ僕も君も知らない顔が沢山あって、これから君がそれを引き出してくれると面白いね」。引き出せたかどうかわかりませんが。

Q カメラを向けた時の笑顔や表情に独特の癖がありましたか。

稲井 先生にはポーズの注文はしないように決めていましたが、作家としての顔とプライベートな時間を楽しむ時の顔とはガラリと変わります。軽井沢の別荘で撮らせてもらった執筆中や講演会での顔。劇団樹座の公演の時の座長としての顔。友人や家族という時の、心から楽しんでいる顔。いろいろな顔があります。でも僕の撮った先生の写真には、笑っている楽しそうな表情が多い。先生の周りにいつも大勢の人が

いて、その中心には笑顔の先生がいます。笑ってください、などと言ったことはありません。僕は少し離れたところから静かにシャッターを切る。ただ、ご自分からさり気なくポーズを撮って難しい顔することもあり、それは見え見えでしたが、そういう時は期待通りの「作家遠藤周作」を撮らせてもらいました。カッコよく撮ってください、と冗談まじりでいつも言われていましたが、先生はいつもカッコよかったです。

周作クラブ・第19回定時総会のお知らせ

第19回定時総会を左記のように開催いたします。遠方の方には申しわけありませんが、ご出席いただければ幸いです。出欠の御返事を9月20日までいただけますでしょうか。なお、ご欠席の方は、返信ハガキの「委任状」の欄への署名・捺印をお願い致します。

日時 2019年9月29日(日) 15時30分〜16時30分

会場 如水会館 東京一ツ橋2の1の1 〆03・3261・1101(代)

〔交通〕地下鉄「神保町」(半蔵門線・三田線・新宿線)いずれもA8・A9出口より徒歩3分。地下鉄東西線「竹橋」1B出口より徒歩4分。

議題 2018年度事業報告/同会計報告/2019年度事業計画/同予算計画/周作クラブ長崎よりの報告/意見交換など

第23回 周作忌の集い・ご案内

会場は神田一ツ橋の如水会館です。ただし今年度の周作忌は日曜となったため、開始時間が少し早まりました。また、この一年間の遠藤文学に対する動向についてもご報告したいと思っています。周作忌は故人と縁のあった方々だけでなく、読者や周作クラブ会員のための集いでもありますので、どうぞお誘い合わせて気軽にお出かけください。

日時 2019年9月29日(日) 17時〜20時

会場 如水会館 東京一ツ橋2の1の1 〆03・3261・1101(代)

〔交通〕地下鉄「神保町」(半蔵門線・三田線・新宿線)いずれもA8・A9出口より徒歩3分。地下鉄東西線「竹橋」1B出口より徒歩4分。

会費 8000円(当日受付でお支払いください)